

- 問1 1842年、江戸幕府はそれまでの方針を転換し、接近した外国船に薪や水、食料を与えて帰すことを命じる「薪水給与令」を出しました。この方針転換の背景となった、当時の東アジア情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. アヘン戦争で清がイギリスに敗れたこと
 2. ロシアの使節ラクスマンが根室に來航し通商を求めたこと
 3. ペリー率いるアメリカの黒船が浦賀に來航したこと
 4. フランス革命の影響によりヨーロッパ諸国との貿易が途絶えたこと
- 問2 幕末の開国にともなう貿易の開始は、当時の日本経済に激変をもたらしました。特に、安価な綿製品の輸入が日本の社会に与えた影響とその背景について、正しい説明はどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。
 2. 日本産の綿織物が海外で高く評価されたため、輸出が急増して国内の綿製品が不足した。
 3. 幕府が綿織物の輸入を奨励したことで、国内の農家は綿花栽培から生糸の原料となる養蚕へ一斉に転換した。
 4. 輸入された綿織物に高い関税をかけることで、国内の伝統的な綿織物産業は手厚く保護された。
- 問3 19世紀におけるイギリスとインドの貿易関係について、産業革命の影響をふまえて述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. イギリスはインドから生糸を輸入し、伝統的な技術で作られた絹織物をインドへ輸出した。
 2. イギリスはインドから綿花を輸入し、工場で大量生産した綿織物をインドへ輸出した。
 3. イギリスはインドから羊毛を輸入し、機械化された工場で生産した毛織物をインドへ輸出した。
 4. イギリスはインドからアヘンを輸入し、代わりに中国産の茶をインドへ輸出した。
- 問4 1867年に江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を決断した背景や経緯について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 戊辰戦争で旧幕府軍が敗北したため、戦後の処理として領地と人民をすべて朝廷に返上した。
 2. 薩長同盟が結ばれたことを受け、将軍自らが天皇を中心とする新しい政治体制の樹立を宣言した。
 3. 幕府を武力で倒そうとする動きが強まる中、土佐藩の勧めを受けて、内戦を避けるために政権を返上した。
 4. 欧米列強による開国要求が強まったため、朝廷と幕府が協力する公武合体を目的として政権を譲った。
- 問5 東アジア、ヨーロッパ、アメリカにおける歴史的な出来事について述べた次の文のうち、それらが発生した順（古いものから新しいものへ）として正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. ルターがドイツで宗教改革を始めた。→ フビライ・ハンが中国に元を建て日本への侵攻を命じた。→ アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が起こった。
 2. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が起こった。→ フビライ・ハンが中国に元を建て日本への侵攻を命じた。→ ルターがドイツで宗教改革を始めた。
 3. フビライ・ハンが中国に元を建て日本への侵攻を命じた。→ ルターがドイツで宗教改革を始めた。→ アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が起こった。
 4. フビライ・ハンが中国に元を建て日本への侵攻を命じた。→ アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が起こった。→ ルターがドイツで宗教改革を始めた。
- 問6 大老の井伊直弼が「安政の大獄」と呼ばれる大規模な処罰を行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 攘夷を実行しようとする長州藩を討伐し、幕府の軍事的な優位性を証明するため
 2. 天保の飢饉から立ち直るため、農民の反乱や幕政批判を厳しく取り締まるため
 3. 大政奉還を実現するために、江戸幕府の体制に反対する有力な諸藩を弱体化させるため
 4. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだことなどへの反対勢力を抑え込むため
- 問7 19世紀半ば、江戸幕府はそれまでの「異国船打払令」を緩める方針転換を行いました。この背景には、隣国である清がイギリスとの戦争に敗れたというニュースが日本に伝わり、幕府が西洋列強の軍勢力に対して強い危機感を抱いたことがあります。このきっかけとなった戦争の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 辛亥革命
 2. フランス革命
 3. アヘン戦争
 4. 日清戦争
- 問8 1864年に長州藩の下関にある砲台が、イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国からなる連合艦隊によって攻撃・占領された事件の歴史的な影響について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 欧米諸国との間で関税自主権を回復することに成功し、日本が不平等条約を改正する第一歩となった。
 2. この事件の勝利によって長州藩の軍勢力が認められ、江戸幕府が攘夷の実行を全国の藩に改めて命じることとなった。
 3. 外国の圧倒的な軍勢力を目の当たりにしたことで攘夷の実行が不可能であることを認識し、藩の方針が倒幕へと転換するきっかけとなった。
 4. 長州藩が外国勢力を排除することに成功したため、全国で再び攘夷運動が激化し、鎖国体制が強化された。
- 問9 19世紀後半のアメリカにおいて、奴隷制の存廃や、貿易政策をめぐる北部と南部の対立から発生した内戦を何といいますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 南北問題
 2. アメリカ独立戦争
 3. ピューリタン革命
 4. 南北戦争
- 問10 江戸時代末期における幕府の対外政策の変遷について、1825年に出された「異国船打払令」の内容から、1842年の「薪水給与令」の内容への変化を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. オランダ船のみに貿易を認める方針から、イギリスやアメリカにも同様の通商権を与える方針に変わった。
 2. 外国船の入港を完全に拒否する方針から、下田や箱館の港を開いてすぐに貿易を許可する方針に変わった。
 3. キリスト教の布教を一切禁止する方針から、特定の港に限りキリスト教徒の居住を認める方針に変わった。
 4. 近づく外国船を無差別に打ち払った方針から、燃料や飲み水を与えてから帰ってもらう方針に変わった。
- 問11 江戸時代の年表において、老中・水野忠邦が天保の改革を行っていた時期に、日本の対外政策に大きな影響を与えた国際情勢として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 辛亥革命によって清が倒れ、アジアで最初の中華民国が建国された。
 2. 名草革命によってイギリスで立憲君主制が確立し、議会政治が日本へ紹介された。
 3. 南北戦争を終結させたアメリカが、太平洋航路の拠点として日本に開国を迫った。
 4. アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。
- 問12 室町時代に京都で発生した応仁の乱では、それまでの戦い方とは異なる特徴を持つ「足軽」が活躍しました。この足軽に関する記述として、歴史的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 藤原道長による摂関政治を軍事面から支えるために組織された、貴族専属の精鋭部隊であった。
 2. 一遍の教えに感銘を受けた農民たちが、平和な世の中を実現するために自発的に結成した自衛組織であった。
 3. 江戸時代末期に「ええじゃないか」の騒動を鎮圧し、開国による混乱を抑えるために幕府が雇った傭兵であった。
 4. 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アヘン戦争で清がイギリスに敗れたこと	強大な国力を持つと考えていた清が、アヘン戦争においてイギリスに敗れたという知らせは江戸幕府に大きな衝撃を与えました。これまでの「異国船打払令」のように外国船を武力で追い払い続けると、日本も欧米列強から攻撃を受ける危険があると判断した幕府は、人道的な支援を行って穏やかに立ち去らせる方針へと転換しました。ペリーの来航はこの出来事より後の1853年であるため、混同に注意が必要です。
問2	答え 1 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。	産業革命によって機械で大量生産された安価な綿織物や綿糸が輸入されたことは、日本の伝統的な産業構造を揺るがしました。これにより、それまで自給自足や国内市場向けに生産していた綿花農家や織物業者は、輸入商品との価格競争に勝てず、経済的な打撃を受けました。一方で、輸出の主力となった生糸の生産農家は好景気に沸くなど、産業によって明暗が分かれる結果となりました。
問3	答え 2 イギリスはインドから綿花を輸入し、工場で大量生産した綿織物をインドへ輸出した。	産業革命によって綿工業が飛躍的に発展したイギリスは、原料である綿花をインドやアメリカなどから輸入し、製品化した綿織物を世界中に輸出しました。以前はインド産の綿織物が人気でしたが、機械生産による安価なイギリス製品が逆にインド市場を席巻することになりました。毛織物は産業革命以前のイギリスの主力産業であり、絹織物は中国や日本などの主要産品であるため誤りです。
問4	答え 3 幕府を武力で倒そうとする動きが強まる中、土佐藩の勧めを受けて、内戦を避けるために政権を返上した。	徳川慶喜は、土佐藩（現在の高知県）の山内豊信（容堂）から出された勧告を受け入れ、政権を朝廷に返上しました。この決断の背景には、倒幕派に武力行使の名目を与えないようにし、徳川家が有力大名の会議において中心的な役割を維持し続けようとする政治的な狙いがありました。
問5	答え 3 フビライ・ハンが中国に元を建て日本への侵攻を命じた。→ ルターがドイツで宗教改革を始めた。→ アメリカで奴隷制をめぐり南北戦争が起こった。	元は13世紀にフビライ・ハンによって中国に建てられた王朝で、日本の鎌倉時代に元寇を引き起こしました。宗教改革は16世紀にドイツのルターがローマ・カトリック教会の腐敗を批判したことに始まり、キリスト教のあり方を大きく変えました。南北戦争は19世紀、リンカーンが大統領を務めていたアメリカ合衆国で、奴隷制の存廃や経済的対立を背景に北部と南部が戦った内戦です。これらは13世紀、16世紀、19世紀と約300年おきに発生した出来事として整理されます。
問6	答え 4 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだことなどへの反対勢力を抑え込むため	井伊直弼は、天皇の許可（勅許）がないままアメリカとの条約調印を断行しました。この独断専行や將軍継嗣問題に対して、徳川斉昭らの一橋派や尊王攘夷派の武士たちが激しく抗議したため、それらの反対派を弾圧して幕府の権威を強引に回復しようとしたのがこの事件の背景です。
問7	答え 3 アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争において、当時東アジアの大国であった清がイギリスに敗北した事実は、江戸幕府に深刻な衝撃を与えました。強力な軍事力を持つ西洋列強と直接衝突することを避けるため、幕府は1842年に異国船を無条件に攻撃する方針を改め、人道的な観点から燃料や水を与える政策へと転換しました。
問8	答え 3 外国の圧倒的な軍事力を目の当たりにしたことで攘夷の実行が不可能であることを認識し、藩の方針が倒幕へと転換するきっかけとなった。	長州藩は前年に外国船を砲撃して攘夷を実行していましたが、連合艦隊による報復攻撃で砲台が占領されるなど甚大な被害を受けました。この敗北を通じて、武力によって外国を排除する「攘夷」の不可能性を痛感した長州藩は、イギリスに接近するとともに、幕府を倒して新しい国家を作る「倒幕」へと方針を大きく転換させることになりました。
問9	答え 4 南北戦争	1861年から始まったこの戦争は、工業化が進み奴隷制に反対する北部と、広大な農地で綿花を栽培し奴隷制を維持しようとする南部との対立によって起こりました。当時のアメリカを二分した最大の内戦です。
問10	答え 4 近づく外国船を無差別に打ち払った方針から、燃料や飲み水を与えてから帰ってもらう方針に変わった。	幕府は当初、異国船打払令によって日本に接近する外国船を砲撃して追い払っていましたが、清の状況を知ることによってその危険性を認識しました。その結果、1842年からは薪水給与令に基づき、漂着したり接近したりした外国船に対して薪や水、食料などを提供し、平和的な手段で日本から退かせたという、方針の軟化が見られます。
問11	答え 4 アヘン戦争で清がイギリスに敗れ、東アジアにおける欧米列強の影響力が強まった。	天保の改革が行われていた1840年代、東アジアではイギリスと清の間でアヘン戦争が勃発していました。この戦争で清が敗れたことは、当時の幕府にとって「アジアの大国であっても西洋の軍事力には抗えない」という強い警戒心を抱かせるきっかけとなりました。これにより、幕府は国内の引き締め（改革）と同時に、外国船に対する慎重な対応を迫られることになり、幕末の動乱期へとつながっていきました。
問12	答え 4 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。	室町時代中期の応仁の乱では、特定の主君を持たず、報酬目的で動員された「足軽」と呼ばれる歩兵が戦いの中心的な役割を果たしました。彼らは従来の騎馬武者による一騎打ち形式の戦いを一変させ、集団戦や市街地での放火・略奪を行うなど、社会の無秩序化を加速させました。これは、家柄や伝統を重んじる中世的な秩序が崩れ、実力主義の下剋上の時代へと移行する過渡期の現象と言えます。